

都市農業の魅力と挑戦



兵庫県青年農業士

小寺農園 小寺清隆

経歴

- ➡ 平成8年 尼崎市立浜田小学校 卒業
- ➡ 平成11年 尼崎市立大庄北中学校 卒業
- ➡ 平成14年 兵庫県立有馬高等学校
緑地園芸科 卒業
- ➡ 平成16年 兵庫県立農業大学校
農産園芸課程 野菜専攻 卒業
- ➡ 平成16年 就農
- ➡ 平成18年 トマト栽培・直売開始
- ➡ 平成23年 トマトオーナー制農園 開園
- ➡ 平成26年 兵庫県青年農業士 認定
- ➡ 平成26年 トマト立毛品評会 農林水産大臣賞受賞
- ➡ 令和7年 兵庫県青年農業士会 会長

経営概況

- ➡ **経営面積** 水田 50a
 畑 25a(パイプハウス15a)
- ➡ **栽培作物** トマト 米 枝豆 夏・秋トウモロコシ
 玉ねぎ ジャがいも こまつな等
- ➡ **労働力** 本人・父・母・妻

トマトの師匠の4つの言葉

1. 基本（一番難しい事で、何事も基本が大切、基本通りできれば応用もできる）
2. 情報（普及所や農協、農家さんとの話し合いや、新聞など、常に新しい情報を知ること）
3. 数字（肥料計算や、農薬の希釈倍数や散布量、収穫量など数字のデータをしっかりととる）
4. 体（健康な体でなければ、何もうまうまいかないし、楽しくない）

トマト販売の歴史

- ① 軽トラックで畑の周りの家に訪問販売
- ② 畑での量り売り
- ③ 現在の袋販売
- ④ オーナー制のトマト農園



なぜオーナー制を導入したのか

- ➡ 自分で収穫したいという声を聞いたこと
- ➡ 限られた労働力の中でトマトの栽培面積を増やしたい
- ➡ 袋づめなどの出荷準備の手間を省略



オーナー制を導入して

良かった点

- ・ トマト販売量を増やす事ができた
- ・ 雨の日の売れ残りがなくなった
- ・ お客様の声をたくさん聴くことができた
- ・ トマトの管理がよくできた

悪かった点

- ・ 時間的拘束があった
- ・ お客様の熱中症等の注意など



農業への理解に向けての取組み

- ➡ 小学生低学年へのトマト栽培などの野菜の話
- ➡ トライやるウィークでの中学生と一緒に農作業



- ➡ じゃがいも・玉ねぎの収穫体験の受け入れ
- ➡ インターンシップの受け入れ



ご清聴ありがとう
ございました

愛情たっぷら

コテラトマト

20th anniversary